

 シラバス参照

授業基本情報

講義番号	911428
授業科目	健康と口の病気
担当教員（所属）	高柴 正悟 (07：歯学部)
学期	2017年度 Q：2学期
曜日・時限	木曜5, 木曜6
単位数	1
教室	一般教育棟A 2 1 教室
ナンバリングコード	NDGZOLAMZ1001N
印刷用ページ	https://gs.okayama-u.ac.jp/campusweb/campussquare.do?_flowId=SYW4101101-flow&nendo=2017&shozoku=91&jikanwari=1428&sylocale=ja_JP
科目区分	平成29年度入学者：知的理解（現代と生命） 平成28年度入学者：知的理解（現代と生命） 平成27年度以前入学者は、以下のHPをご確認ください。（ http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/timetableindex.html ）
対象学生	平成29年度入学者：生命系 平成28年度入学者：生命系 平成27年度以前入学者は、以下のHPをご確認ください。（ http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/timetableindex.html ）
必修・選択の別	選択必修
連絡先	所属 大学院医歯薬学総合研究科 歯周病態学分野 電話番号 086-235-6675 Eメールアドレス stakashi@okayama-u.ac.jp
オフィスアワー	火曜日17:00～、木曜日8:30～10:00（ともに、鹿田地区 歯学部棟7F 歯周病態学分野） 事前にe-mailで連絡があると助かります！（大学の公用mail addressを使用して下さい。さもないと迷惑メールとして分類されて対応出来ないことがあります。）
学部・研究科独自の項目	関連しない
使用言語	学生により日本語又は英語
授業の概要	ヒトが一生を健康に過ごすための一工夫を考えてもらうオムニバス授業です。 一緒にhealthy lifeとは何かを考えましょう！
学習目的	ヒトが一生を健康に過ごすための一工夫を考える。
到達目標	ヒトが一生を健康に過ごすための ①一工夫を考え、 ②自らの行動を修正し、 ③他者へも提言と支援ができる 授業の終了段階で、学生が到達できる内容（知識や行動など）について記載する。
	第1回 6月15日 健康生活のために：口は全身の健康にものを言う：歯周病の全身への影響、暮らしの変化と口の病気 高柴正悟 stakashi?okayama-u.* 第2回 6月22日 ヒトの心の健康： 歯科審美性と心（美しさを求めて）、進化する齲蝕（ムシ歯）治療の技術 鳥井康弘 torii?md.okayama-u.* 第3回 6月29日 健康生活のために： 口腔の防御機構－唾液を中心に－、簡単にできる齲蝕（ムシ歯）予防と歯周病（歯槽膿漏）の予防 江國大輔 dekuni7?md.okayama-u.*

授業計画	<p>第4回 7月 6日 ヒトの発生に関わるもの： 腫瘍の特徴と治療，口と顎のがん 木村卓爾 kimutaku-oka?umin.*</p> <p>第5回 7月13日 楽しい生活と顎の働き： 顎の機能と病気，加齢に伴う変化 山近英樹 eikiyama?md.okayama-u.*</p> <p>第6回 7月20日 食を健やかに育む： 摂食と嚥下の働きと異常，健やかな加齢に向けて 村田尚道 murata-n?md.okayama-u.*</p> <p>第7回 7月27日 健康生活のために： 口腔の微生物との付き合い方，感染症としての虫歯と歯周病 大原直也 oharan?md.okayama-u.*</p> <p>第8回 8月 3日 医歯工連携で創る健康： 先端医用材料と器械，生体材料と生体の調和 岡田正弘 m_okada?cc.okayama-u.*</p> <p>(注意：?は@へ，*はac.jpへ置換)</p>
授業時間外の学習（予習・復習）方法（成績評価への反映についても含む）	<p>高柴の過去の2回分の講義資料を事前に見ておくこと。以下のリンクから見て下さい。パスワードは，高柴のメールアドレスのuser名（@の前）。</p> <p>http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/kogi3/health_oral_disease/1st_lecture.pdf http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/kogi3/health_oral_disease/2nd_lecture.pdf</p> <p>【注意】上記URLにある講義資料は，すでに今年度のものに変更されました。過去のものを見る場合は，「過去の資料棚」を見て下さい。 過去の試料棚 http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/kogi3/health_oral_disease/previous/</p>
授業形態	<p>(1)割合 講義形式：80% 講義以外（学生との対話，アクティブラーニング等） 20%</p> <p>(2)講義形式以外の内容 ディスカッション なし グループワーク なし プレゼンテーション なし 学内実習・実験 なし 学外実習 なし その他： Internet検索推奨</p> <p>(3)履修者への連絡事項 研究室のHPでの予習・復習を含みます。配慮が必要な場合は履修登録前に担当教員に相談してください。</p>
使用メディア・機器	<p>オムニバス講義 各教員が必要に応じて，プリント，スライド，ビデオ，Internet等を使用します。 もちろん，ICTも。 板書もあり。</p> <p>履修者への連絡事項： 日英の言語を含むスライドを使用しますので，配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい。 板書もありますので，配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい。</p>
教科書	<p>指定なし。 オムニバス講義なので各教員が必要に応じて，プリント，スライド，ビデオ，Internet等を使用します。</p>
参考書等	<p>代表教員の私的な勧めですが， ，参考までにどうぞ。 1) ハーバード白熱教室講義録 +東大特別授業 (上下) マイケル・サンデル著 (NHK「ハーバード白熱教室」製作チーム，小林正弥・杉田晶子 (訳) 早川書房 2) 正しい大人化計画 一若者が「難民」化する時代にー 小浜逸郎 著 ちくま新書 3) 生活習慣病を防ぐ ー健康寿命をめざしてー 香川靖雄 著 岩波新書 4) アメリカNIHの生命科学戦略 掛札 堅 著 講談社 (Blue Backs) 5) 医学・医療の品格 久道 茂 著 業事日報社 6) 歯周病と7つの病気 吉江弘正，高柴正悟 編著 永末書店</p> <p>それ以外は，各教員が適宜に紹介します。</p>
	筆記試験無し。

成績評価	<p>ただし、出席状況と毎回のレポートによって、各授業担当者が独自に採点。そして、代表者がそれを総合して採点。</p> <p>レポートには、何を学んだか、そして何を疑問としたかを、論理的に記述することが求められます。学生諸氏の教員への「showtime」と思って、書き上げて下さい。</p> <p>出席回数が本学の定めるものに達しないときは、成績評価不能となります。</p> <p>(休みを認めるのは、本学が定める公欠・準公欠(詳細は本学HPホーム>学生生活>公欠・準公欠・その他の欠席について)のみです。)</p>
担当教員の研究活動との関連	<p>大学院医歯薬学総合研究科の歯学系教員の先端研究成果を、教員側からの学生諸氏への「showtime」として分かりやすく解説します。</p> <p>それらは、皆さんのこれからの研究・学習・日常生活に関連するものを多く含みます。</p>
受講要件	<p>健康な生活を望む人、健康科学に貢献したい人は、だれでもwelcome!</p> <p>予備知識は必要ないけれども、学び向上する意欲は必要です。</p> <p>なお、規定の講義机に着席して受講することが求められます。</p>
他学部学生の履修の可否	可
教職課程該当科目	この項目は当該科目には該当しない
J A B E E との関連	自主的学習能力；自分で新たな知識・適切な情報を獲得する能力；論理的な記述力
備考／履修上の注意	<p>1) 本学の公用メールアドレス(学生用)を用いて、高柴まで連絡下さい(特に補講を必要と思う人)。コミュニケーション能力も問われます。</p> <p>2) 最初の2回目までの高柴による講義期間には、受講の追加を認めます。(なお、全員が講義室の机に着くことができるまでとします。)</p> <p>3) 出席回数が本学の定めるものに達しないときは、成績評価不能となります。また、休みを認めるのは、本学が定める公欠・準公欠(詳細は本学HPホーム>学生生活>公欠・準公欠・その他の欠席について)のみです。</p> <p>4) ICTの応用でinteractiveな講義にしましょう!</p> <p>.....</p> <p>本科目は、抽選対象科目です。</p> <p>抽選で当選した学生あるいは、Web追加募集で当選した学生以外履修できません。</p> <p>所属学部の掲示板及び岡山大学公式HPを確認のうえ、指定された期間内に抽選登録してください。http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/kyomu1_5.html</p> <p>.....</p>

DP要素

人間性・倫理観【教養】	
創造力・想像力【教養】	
論理的思考力・判断力【教養】	
幅広い分野への知的関心【教養】	30%
幅広い分野の知識習得【教養】	50%
特定分野のための基礎的能力【専門性】	
情報収集力【情報力】	
情報活用力【情報力】	
情報発信力【情報力】	
主体的行動力【行動力】	
国際感覚【行動力】	
言語力 言語を理解する力【行動力】	
言語力 言語を運用する力【行動力】	
自己実現力【自己実現力】	20%
関連割合の合計	100%